

企画総務委員会 送付4-4

神田警察通り道路整備に於いてイチョウ伐採中止・街路樹保存を求める陳情

受付年月日 令和4年4月14日

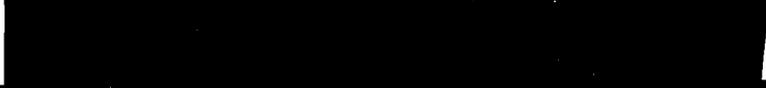
陳情者	提出者	1名
	署名者	1名
	計	2名

## 陳情書

2022年4月14日

千代田区議会議員 桜井ただし様

神田警察通り道路整備に於いてイチョウ伐採中止・街路樹保存を求める陳情

陳情者：   


ご公務お疲れ様です。お世話になっております。

私、神田警察通り第2期工事区間・イチョウ伐採計画、当該地区（錦町三丁目）の住民です。令和元年末に実施された道路工事に関するアンケートに於いては「銀杏を保存して欲しい。その上で歩道の整備をお願いしたい」と回答し提出もしました。個人的には「神田警察通り沿道整備推進協議会」に委員として加わられた僅か数人の町会長等の意見が、当該地域住民の「総意」と言わんばかりの物言いに違和感を抱いております。また錦町三丁目町会・錦町三丁目第一町会の町民は「イチョウを伐採する」等の話を全く聞かされておりました（連絡が無かった）。

改めて嘆願、陳情します。「第1期工事と明大通りの経験を活かした同様の工法、新しい知見を以って『イチョウ・プラタナスなどを残す』環境と住まう人に優しい安全な道路整備を千代田区モデルとして神田警察通りに於いても行うよう求めます」

2022/04/09に行われた話し合いでは卒業を理由に「もう関係無い」と参加女性を部屋から退席（排除）させた事、またその口火を切った本人が話し合いの途中で席を立つ（退席）など話し合いの体を成さなかったにも係わらず、此の場を以って決裂「伐採」へと既成事実化、それら事実を問題と捉える事もなく容認する（その日の音声確認もなされた）千代田区長に対する不信感も拭えません。

当日「神田警察通りの街路樹を守る会」では代替案、スポット植栽（桜）等の案もご用意されてたようです（お聞きしました）。

このまま伐採を強行すれば地域に禍根を残します。

委員の方は街路樹を残したい人達や守る会の提案を汲んで、樹木の専門家、近隣住民、学生を交えた意見交換会の開催を、強いてはマスコミなども加わる開かれた公聴会を。と今回希望するものです。

陽光桜、誕生の経緯「平和への祈り」「反戦」。戦地で命を落とした教え子を悼み戦死者の魂を鎮める為に、と理解していますが。

元々そこに在る生きた生きている健康なイチョウを伐採、命を断つことは、その意（意志）と矛盾してはいないか。甚だ疑問です。

高岡正明さんは陽光桜は代わりに「私（桜）」をと望むか、そう考えるだろうか。



「陽光桜」映画関係者、栽培関係者にも問います。

ここの銀杏は関東大震災後の復興の際（為）に植えられたものと聞いております。皇居、大手濠緑地広場・和気清麻呂像前広場に有る「震災銀杏」の流れを汲む、復興祈願の樹木です。歴史ある長年親しんだ木々なのです。

物心ついてからの60年余りを、季節と共に歩いて来た街路樹（イチョウ・プラタナスなど）です。雌花の木も植え替えられたのか大分減りました。母は犬の散歩の時、建て直し前の神田警察署の辺りで署員の方と並んで銀杏を拾ったと話します。大人が掃除を担って来てくださったおかげで、小学生だった自分達は銀杏を拾ったり踏んで遊んだり、乾いた音を競うプラタナスの落葉踏みで友達と遊んだりしていました。今も交流の有る、神田に住む級友との懐かしい思い出です。

どうぞ地元住民の声に今一度耳を傾け、撤去（伐採）工事を中止させてください。道路整備はイチョウを残し保存して進めてくださいますようお願い申し上げます。

意見書（神田警察通りに関する）2022/04/14 [REDACTED]（[REDACTED] 住人）

○環境、SDGs、ヒートアイランド防止より、「賑わい（経済的価値）」が優先されている。樹高の低い木では、真上から射す夏場の日除けにならない。

○「イチョウより、ヨウコウザクラを」との理由とされるものが、「桜並木で注目を集めたい」「地域の魅力を増したい」「シンボルツリーになる」等々でしたが。ならば、桜の花は実質1週間から3週間足らずしか持たず、イチョウの黄葉は昨秋から年を明けても尚保っており、彩り而言えば圧倒的に（期間）優っている。

○そもそもイチョウは関東大震災からの復興祈願で植えられた「シンボルツリー」である（火災に強い）。大手濠緑地に「震災イチョウ」も残っている。

○樹木鑑定では神田警察通りのイチョウ・プラタナスなどは、老木ではなく健康な木であるとされた。ヨウコウは成長が遅く成長した木を植樹となると予算大に。

○掃除に関して。桜も落葉樹でイチョウと変わらない。天気予報などで桜を散らす雨と言われ、桜の咲く頃に雨が降ることも多く、落ちた花卉は濡れてアスファルトに貼り付く。程度の差こそあれ、イチョウだけが特別に大変な訳ではない。豊島区のグレーチングに石材を詰め込む加工など成功してる例が有る。<https://www.city.toshima.lg.jp/013/kuse/koho/hodo/r20302/2102051317.html>

○「第19回神田警察通り沿道整備推進協議会について」資料4・令和4年1月31日  
[https://www.chiyoda-fund.com/\\_files/ugd/c07db5\\_d84bb573bdac4df0a9a5a04ba0e50b0c.pdf](https://www.chiyoda-fund.com/_files/ugd/c07db5_d84bb573bdac4df0a9a5a04ba0e50b0c.pdf)

■1期工事の住民は、イチョウを伐採してほしい意向と聞いている。（※引用）  
第1期工事区間には共立女子学園と学術総合センターしか無く住民はいない筈であるが、この意見は誰のものなのか。また、この意見（意向）を以って伐採希望が多数あったと印象付ける意図的なものではなかったか。当然瑕疵が有る。

○すれ違い可能を前提とした（対面通行）自転車道について。自転車はすれ違って走れるだけのスペースが必ずしも必要な訳ではなく、危ないと感じたのなら降りて道を譲ることもできる訳で、お互い様という気持ちが有れば成り立つことである。

○長年、街を守ってくれ憩いを与えてくれたイチョウ、プラタナス、ケヤキ、エンジュなどの現存する街路樹を大切にしたい。  
神田警察通りのイチョウを保全保存した上で、道路整備を行って欲しいと考えます。